

令和8年度リスクリソグ人材育成プラン策定伴走支援事業運営業務
公募型プロポーザル選定委員会審査に係る評価基準

評価項目		着眼点	係数	配点
1	実施方針	○本業務の目的及び内容を十分に理解し、仕様書の趣旨に沿った内容であるか	1	6
2	事業内容			
	参加企業の募集	○参加企業の募集方法は適切であり、獲得目標（20社）の達成が期待できるか ○リスクリソグ推進宣言制度への登録企業以外の企業に対するアプローチについて、アプローチ対象先の設定及び募集方法が具体的に提案されているか	2	12
	参加企業の選考	○書類審査及びヒアリングの審査基準の項目案等は、本事業を通してリスクリソグ人材育成計画を策定し事業終了後に継続して実行できる企業を選定するに当たって適切な内容となっているか	1	6
	キックオフイベントの開催	○イベント参加者が本事業の概要を理解できるとともに、本事業に取り組むモチベーションが得られるような企画内容となっているか ○イベントの運営（当日のオンライン配信など）に当たって十分な体制を確保し、適切な対応が期待できるか	2	12
	ワークショップの実施	（必須事項） ○ワークショップの各回のテーマ案はリスクリソグ人材育成計画の作成に当たって効果的な内容となっているか ○参加者同士で交流できる内容になっているか ○ワークショップの実施会場は参加者にとって適切な会場が提案されているか ○ワークショップを運営するための十分な体制を確保し、参加者の状況等に応じた適切な対応が期待できるか	3	18
		（自由提案） ○ワークショップをより効果的に機能させる施策や作成したリスクリソグ計画に沿って参加企業が自走していくための支援など、仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか	1	6
	個別伴走支援の実施	（必須事項） ○参加企業に対し個別の支援を行う者は本業務を行う上で、十分かつ有益な実績や経歴、資格等を有しているか ○リスクリソグ人材育成計画を作成する過程で生じた個別・具体的な課題に対して、適切な指導・助言が期待できるか	3	18
		（自由提案） ○個別伴走支援をより効果的に機能させる施策や作成したリスクリソグ計画に沿って参加企業が自走していくための支援など、仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか	1	6
	効果検証	○効果検証の方法・内容の提案は効果的かつ実現可能なものか	1	6
	優良事例記事の作成	○作成プロセスやイメージが具体的かつ現実的なものであるか	1	6
	業務の実施体制	○実施体制が本業務を確実に実施できるものとなっているか ○実施スケジュールは妥当か	2	12
3	業務実績	○同種業務の経験や知見が豊富であり、本業務を確実にかつ効果的に遂行する十分な実績を有しているか	1	6
4	経費の妥当性	○業務目的、内容に即した適切な経費が計上されており、業務内容に対して妥当な額となっているか	1	6
評価値合計（120点満点）				120

※評価は次の6段階で行い、評価点は項目ごとに設計した係数を掛けた点数を適用する。

配点	1	2	3	4	5	6
評価	劣っている	やや劣っている	普通	やや優れている	優れている	非常に優れている

※選定委員会における評価が次の条件に該当する場合は採択しない。

- ・委員による評価結果の合計が、最低基準点（72点×委員数）に満たないもの
- ・評価項目「2 事業内容」に係るいずれかの項目について、「劣っている」という評価を委員2名以上から受けたもの